

宮内市政 2期目がスタート

皆さまの声を力に

「挑戦するまち、誇れる未来」へ

宮内康幸市長が2月9日、選挙後初登庁し、2期目の市政がスタートしました。

市役所玄関前で花束を受け取った宮内市長は、「市民の皆さまの期待に応えるため、粉骨砕身、取り組んでまいります」と、2期目に向けての抱負を述べました。

匠瑤市長 宮内 康幸

6つのまちづくりビジョン

このたび、市民の皆さまからの信任をいただき、2期目の市政運営を担わせていただくことになりました。改めて、その責任の重大さに身の引き締まる思いです。

1期目を振り返って

1期目の4年間は、「6つのまちづくりビジョン」と「7つの重点施策」を掲げ、取り組んでまいりました。病児・病後児保育施設の開設や国の脱炭素先行地域への選定、銚子連絡道路の延伸による産業用地整備における事業化検討パートナーが決定するなど、施策を進めることができましたが、匠瑤市の将来を見据えたまちづくりの実現に向けては、まだまだ道半ばです。また、喫緊の課題である財政健全化については、さらなる財政基盤の強化に取り組んでいかなければなりません。

2期目の市政運営に当たり、引き続き6つのまちづくりビジョンのもと、重点施策を前へ進めてまいります。

①市民病院の建て替え整備をはじめとする「健康で生きがいを持ち、笑顔があふれるまちづくり」

②風水害対策など災害に強いまちを築く「安心・安全に暮らせるまちづくり」

③子育て環境の整備や地域包括ケアシステムの構築による「いきいきと暮らす子育てと福祉のまちづくり」

④銚子連絡道路延伸による産業用地整備、脱炭素先行地域の実現と連動した地域課題の解決に向けた「未来へ夢と希望を持てるまちづくり」

⑤農業の担い手育成や商工業者に対する支援の拡充を図る「農林水産業と商工業の発展を目指すまちづくり」

⑥財政健全化の推進や行政のデジタル化、協働による「持続可能な行財政運営に取り組むまちづくり」

今住む人が幸せに暮らし、若者や子どもたちが住み続ける地域づくりの実現に向け、これら6つのまちづくりビジョンを推進していきます。

3つの基本姿勢

①「市民との対話による開かれた市政運営、行政の取り組みを見える化」する

②「地域経済を活性化！地域資源をフル活用し、磨きをかけて全国発信」する

③「前例を打破しチャレンジする行政へ転換」する

今後3つの基本姿勢をもち、市民の皆さまの声を力に換え「挑戦するまち、誇れる未来」へ、粉骨砕身の覚悟で取り組んでまいります。市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。



職員から花束を受け取る宮内市長（左）

むやみに移動を開始せず、 落ち着いた行動を。

大規模災害では交通機関が機能しなくなり、移動が困難になります。こうした場合、むやみに移動を開始せず、身の安全の確保や情報収集などに徹しましょう。

勤務先や学校など自宅から離れた場所にいるときに大規模な災害が発生すると、公共交通機関の運行停止や道路の交通規制などで、帰宅が困難になることが予想されます。このときに、多くの人が一斉に徒歩で帰宅を始めると、火災や建物からの落下物などにより負傷する危険があります。また、災害時に優先さ

れるべき救助・救急活動の妨げとなる可能性があります。

そのため、災害発生時は、むやみに移動を始めず、落ち着いて身の安全確保や情報の収集に努めることが重要です。また、普段から家族間で安否確認の方法を話し合うなど、日ごろの備えも心掛けましょう。

問 総務課消防防災班 ☎ 73・0084

災害が発生したら

- 自分の身の安全の確保を第一に
- 職場や集客施設などの安全な場所に待機する
- 災害用伝言サービスを活用して、家族の安否や自宅の無事確かめる
- スマートフォンやラジオなどを利用して、交通情報や被害状況入手する

日ごろからの準備を

- 家族間で安否確認の方法や集合場所を決めておく
 - 職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食料などを準備しておく
 - 携帯電話の充電器やモバイルバッテリーを持ち歩く
 - 職場などからの帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドの場所を確認しておく
- ※千葉県はコンビニやガソリンスタンドなどと徒歩帰宅支援協定を締結しており、災害時に水道水、トイレや交通情報などの提供を可能な範囲で受けられます。

もしもに備えて

防災行政無線受信機やハザードマップを確認

定期的に受信機を確認

防災行政無線の戸別受信機は、停電時でも使用できるように乾電池を入れることができます。

受信機を定期的に確認し、古くなった乾電池（1年以上経過したもの）は、早めに交換しましょう。

※貸与の希望、不要になった場合の返却、うまく受信できない場合などは、総務課消防防災班（☎73-0084）までご連絡ください。



防災行政無線戸別受信機

ハザードマップは、市役所や野栄総合支所などで配布しています。

▶津波・土砂災害ハザードマップと洪水ハザードマップ



防災メールの登録を

市では、防災情報などを携帯電話やパソコンにメールで配信する「匝瑳市防災メール」を運用しています。

防災情報の取得手段として、ぜひご利用ください。

◆配信内容

気象情報、避難情報などの防災情報、地震に関する情報（震度3以上）、津波に関する情報、国民保護情報など

◆登録方法

[t-sosa@sg-p.jp] に空メールを送るとメールが届きますので、案内に従って、登録手続きを行ってください。



スマートフォン
の場合は
こちらから

避難場所や自宅付近の危険箇所をチェック

市で配布している「津波・土砂災害ハザードマップ」と「洪水ハザードマップ」には、市内の水害や津波および土砂災害が想定される区域の他、避難場所などの情報を掲載しています。

日頃の防災対策として、自宅付近の危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。